



白小だより

令和5年8月29日

9月号

府中市立白糸台小学校
校長 堀越 新一

できることを考えて

校長 堀越 新一

温暖化を超えて「沸騰化」ともいわれ始めた今年の夏。猛暑日の日数も過去最高を記録するなど、暑い夏になりました。豪雨による被害を受けた地域もある一方、水不足も心配されます。お盆の時期に台風縦断もありました。厳しい気候でしたがご家庭ではいかがお過ごしでしたでしょうか。大きな事故なく2学期を始めることができるのは、保護者の皆様のお力と感謝いたします。

先日、東京2020パラリンピック女子マラソン（視覚障害）金メダリスト、道下美里（みちした みさと）さんの話を伺う機会がありました。道下さんは、小学校4年生のときに右目に違和感をもち、中学校2年生で失明してしまいます。その後、左目も不調となり、25歳でほとんど視力を失ってしまいました。調理師免許も取ったのですが、お母様の勧めで盲学校に入学しました。そこで恩師との出会いもあり陸上競技を始めました。フルマラソンに挑戦するなど数々の大会に出場。その後企業に所属して走り続け、女子視覚障害マラソンの世界記録を樹立。そして東京2020パラリンピックの金メダル獲得となりました。

視力が失われ、調理師の夢もあきらめざるを得ず、つらかったはずですが、しかし「自分でコントロールできることだけを考えた」と話されていたように、できないことでなく、できることを考えていく前向きな生き方に感銘を受けました。常に素敵な笑顔で語られていましたが、あの笑顔に表れている人としての魅力が、伴走者をはじめ多くの仲間を呼び、道下さんと共に試合に臨む「チーム道下」をつくったのだと感じました。

さて、9月に運動会を実施します。昨年度までは参観の制限をさせていただきましたが、今年度は特に制限は設けません。ただし、コロナ禍前と同じ形での実施ではありません。「秋の運動会」とはいえ、9月も暑さが続くことは予想できましたので、子供たちの安全を考え、午前中のみの実施とします。限られた時間の中で可能な限り「できること」を考え、短距離走で個々の学びの成果、学年演技で友達同士の学び合いの成果をご覧ください。今年は全校競技（赤白大玉おくり）で、異学年で力を合わせる姿も参観いただきます。選抜リレーは全校児童の模範として、子供たちの走ることへの意欲を高めるため実施します。開閉会式も行います。多くの種目を午前で終えるよう時間短縮を図るため、徒競走の順位や得点は付けません。保護者の皆様には、時間等の制限はいたしません。昨年度と同様、シートを用いての観戦はご遠慮いただき原則立ち見をお願いします。演技をしている学年の保護者の方に前方をお譲りいただくためです。観覧場所の確保はできませんので受付時間に合わせて、またはお子さんの演技の時間に来校ください。

2学期も暑さが厳しく校庭での運動会練習ができないことも考えられます。校舎内は改修工事によりトイレの使用制限もあります。難しい状況にあっても、子供たちの安全を優先に、道下さんのように、できないことでなく、できることを考えながら「笑顔あふれるみんなの学校」目指し、教育活動を進めてまいります。

生活指導

9月の安全指導目標は「交通ルールを守りましょう」

生活指導部

7月の安全指導では、「安全な交通をしましょう」ということで、正しい自転車の乗り方や安全な歩行について考えました。また、学区の危険な箇所を知るために1～3年生はDVDを視聴し、4～6年生は危険な箇所にシールを貼る「ヒヤリ地図」を作成し、交通事故に遭わないために大切なことを考えました。9月の交通安全週間に、集計した「ヒヤリ地図」を使って交通安全指導をしていきます。この機会にご家庭でも交通ルールについて、今一度お子さんとご確認ください。

学校案内

夏 季 水 泳 指 導

体育的行事委員会

今年もたくさんの子供たちが、楽しみながら夏季水泳に参加しました。学校では毎日暑さ指数を計測し、子供たちが安全に水泳を行うことができるように確認しました。

子供たちは、様々な水に慣れるための活動や泳法に前向きに取り組みました。浮いたり潜ったりの基本から、クロールや平泳ぎの泳法を身に付けようと毎回頑張っており、ひと回り成長した姿を見せました。

保護者の皆様には、日頃からの健康管理、プール用具の準備などご協力いただき、本当にありがとうございました。

運動会に向けて

運動会委員長

9月30日（土）は、子供たちも楽しみにしている運動会です。子供たちが一丸となって、競技、演技を最後までやり通し、運動に参加することへの楽しさや感動を味わってほしいです。運動会を通して、日頃の体育の成果や積み重ねてきた努力を存分に発揮できるよう指導してまいります。

内容は、各学年、短距離走と学年演技（表現）の2種目と中高学年選抜リレー、また、今年度は新たに全校での大玉送りも実施します。夏休みが明けたら、本格的な練習が開始されます。子供たちの頑張りに温かな応援をお願いします。

図工室の窓から

図画工作専科

図工の時間、子供たちはいろいろな材料や道具、場所と出会い、ためしてみても「おもしろい!」「何かできそう」と気付き、それをもとにイメージを広げ「これがいい!」と自分の思いをもって制作に取り組んでいます。思い付いたことを自由に試し、考え、やりたいことを実現するためにはどうすればいいかを手を動かしながら試行錯誤する時間は、とても大切です。

さて、今年度は11月に展覧会を行います。展覧会の会場で子供たちの作品を「上手、下手」と評価されてしまい、とても残念に感じることがあります。「上手、下手」は大人の価値基準で見て決めていることです。それよりも、子供たちが自分でいろいろ考えて、試して、自分の価値や意味を見付けながらつくることの方がもっと大切です。

展覧会の会場では、作品を見て評価する以上に、子供たちが何を考え、どんな思いでつくったのか、試行錯誤したことを丁寧に鑑賞いただきたいと思います。展覧会では、ご家庭でお子様とたくさんお話できるようなすてきな時間を過ごしてもらえればうれしいです。

委員会

「きれいな学校、そして新しい取り組みを考えて」

整美委員会

整美委員会は、毎月の活動日に、各教室の清掃状況や掃除用工具箱の点検をしています。そして、学期ごとに全員で話し合い、校内がよりきれいになるための活動もしています。

1学期は、普段の活動に加え、各クラスの替えの上履き調査を行いました。これは、保護者の皆さまに声を掛け、使わなくなった上履きを集めさせてもらいました。約20足集まり、サイズを確認して、各学年に配布しました。古い上履きが新しくなり、忘れた場合も担任にしっかり伝えて、借りることができています。

2学期以降も、普段の活動と新たな活動を模索しつつ、学校がきれいになるように活動をします。最後に、履かなくなった比較的きれいな上履きがありましたら、担任までお願いします。

集会委員会の活動

集会委員会

「これで見えるー?」「うん、ばっちり見えるよ!」

委員会活動の時間に委員の5、6年生がお互いに声をかけていました。6月に行う「何と言っているでしょうかゲーム」の集会の準備です。3年ぶりの体育館での開催。クイズの答えの絵が全校のみんなに見えるかどうか、廊下の端に立って互いに確認し合っていました。クイズの練習をする人、答えの絵を描く人、ルール説明をする人。6年生を中心に、みんなで分担しながら自分たちで積極的に準備を進めていました。

そして、本番。「続いて第2問です。どうぞー!!」大きく元気な司会の振りを受けて、クイズを言う委員が笑顔でステージ上に出てきます。真剣に、そしてとても楽しそうに聞く全校の子供たちの姿が印象的でした。

集会委員のクロームブックのクラスルームには、自分たちで挙げたたくさんの意見が載せられています。中には過去の先輩たちが残した意見もあります。それらを参考にしながら次の集会に向けて、切磋琢磨しています。

